

厚木市本庁舎敷地跡地等活用検討委員会規則

(設置)

第1条 本庁舎敷地の跡地等の活用について検討するため、厚木市附属機関の設置に関する条例(昭和32年厚木市条例第17号)第2条第2項の規定に基づき、厚木市本庁舎敷地跡地等活用検討委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 本庁舎敷地の跡地等の活用に向けた方針に関すること。
- (2) その他本庁舎敷地の跡地等の活用について、市長が必要と認める事項に関すること。

(委員)

第3条 委員会の委員は、15人以内とし、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 公募による市民
- (2) 関係団体の代表
- (3) 学識経験者

(任期)

第4条 委員の任期は、令和6年6月30日までとする。

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。
- 3 委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集する。

- 2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第7条 委員会は、必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見若しくは説明を聴き、又は関係者に対し必要な資料の提出を求めることができる。

(秘密の保持)

第8条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

第9条 委員会の庶務は、行政経営課で処理する。

(委任)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

- 1 この規則は、令和5年7月1日から施行する。
- 2 この規則は、令和6年6月30日限り、その効力を失う。

厚木市本庁舎敷地跡地等活用検討委員会名簿

(50音順)

No	氏名	選出区分（選出母体）
1	伊藤 重文	関係団体の代表 （厚木市自治会連絡協議会）
2	梶田 佳孝	学識経験者 （東海大学）
3	佐藤 勝太	学識経験者 （神奈川中央交通株式会社）
4	柴田 秀穂	学識経験者 （小田急電鉄株式会社）
5	永井 竜一	学識経験者 （横浜銀行）
6	永澤 実	学識経験者 （日産自動車株式会社）
7	中村 幹夫	関係団体の代表 （厚木商工会議所）
8	棗 進	関係団体の代表 （厚木北地区自治会連絡協議会）
9	難波 悠	学識経験者 （東洋大学大学院）
10	早寄 慶一郎	学識経験者 （株式会社レンブラントホテルマネジメント）
11	松枝 誠	学識経験者 （東京電力パワーグリッド株式会社）
12	向島 史朗	関係団体の代表 （あつぎエリアマネジメント）
13	矢口 仁史	公募市民
14	八尾 廣	学識経験者 （東京工芸大学）
15	山内 領紅	公募市民